



さくら



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立152年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】
学校教育目標「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」 重点目標「認め合い、伝え合う子」

【令和7年度全国学力・学習状況調査】から

4月に6年生を対象に実施しました「令和7年度全国学力・学習状況調査」における桑村小学校の調査結果と、今後の取り組みについてお知らせいたします。

今回は、国語・算数・理科と学習状況の調査を行いましたが、児童の学力の一部であり、学校の教育活動の一側面であることをご承知おきください。
(文責:小川)

1 学習について

国語	算数	理科
△	△	△

表の見方(全国比)

「○」…高い 「○」…やや高い 「□」…ほぼ同じ
「△」…やや低い 「▲」…低い

国語・算数・理科の3教科とも本校の結果は、全国平均をやや下回りました。領域の結果は以下の通りです。努力を要する事項として、次のような点が挙げられます。

国語 (全14問)	領域別結果(国語)					
	言葉の特徴や使い方	情報の扱い方	言語文化に関するこ	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	□	▲	△	□	□	△

- ▲目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見つける(必要な情報を読み取る)こと
- △事実と感想、意見等との関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること
- △目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

算数 (全16問)	領域別結果(算数)				
	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
	△	△	△	▲	▲

- ▲分数の加法について共通する単位分数を見いだし、加数と被加数が共通する単位分数のいくつ分かを言葉や数を用いて記述すること
- ▲目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること
- ▲基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述すること
- ▲伴って変わる二つの数量関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見いだし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること

理科 (全17問)	領域別結果(理科)				
	エネルギー	粒子	生命	地球	
	▲	▲	□	▲	

- ▲身の回りの金属について、電気を通すもの、磁石に引き付けられる物があることの知識を身につけること
- ▲種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に新たな問題を見いだし、表現すること
- ▲乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識を身につけること
- ▲自然現象を、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解すること

力をつけるための 取り組み

国語	文章の叙述、また、発言や対話の場面においては相手の発言内容から <u>相手の伝えたいことを、自分なりに要約したり解釈したりする場を設定</u> しています。
算数	基礎的な知識技能を定着させていくために、 <u>計算練習を随時進める</u> と共に、問題文や図や表、グラフの意図を正しく読み取り、活用していくために、 <u>他の授業でも資料や情報から考える場面を意図的に設定</u> しています。
理科	<u>身の回りの生活やニュースと学習したことを結びつけて考える場面を意図的に設定</u> し、日常生活を科学的に見る視点を育てていきます。

2 生活や学習の様子について

全国学力学習状況調査では、学力面だけではなく、学校や家庭での生活・学習の様子についても調査しています。近年この調査を通して、子供たちの生活の様子と学力の状況に相関関係があることが明らかになっていきます。以下、主な項目についてお知らせします。

表の見方（全国比） 「◎」…良好 「○」…やや良好 「□」…ほぼ同じ 「△」…やや課題 「▲」…課題

質問内容	R4	R5	R6	本年
朝食を毎日食べていますか	◎	◎	○	◎
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	□	○	◎	□
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	△	○	○	○
自分には、よいところがあると思いますか	◎	○	○	○
将来の夢や目標を持っていますか	◎	○	○	○
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	◎	○	□	○
学校に行くのは楽しいと思いますか	○	▲	△	□
平日家でどのくらいの時間勉強をしますか（塾含む） ※1時間以上の値	△	△	△	▲
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思っていますか。				▲
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。				○
わからないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。				○
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができますか。				▲

生活や学習の状況について、以下のような姿が浮かび上がってきます。

- ◎朝食を食べるなどの基本的生活習慣が身に付いています。起床時間の安定については全国平均を上回っています。睡眠時間の十分な確保は心身の健康に寄与すると報告されています。
- ◎自己肯定感を高くもち、将来の夢や目標をもつことができています。
- ◎困りごとや不安があるときには、先生や学校にいる大人に援助要請できる傾向が高くなっています。
- 学校に行くのが楽しいと感じていない子が、数名います。（全国平均並ではあるが）
- ▲平日も休日も授業以外に学習する時間が短くなっています。（特に土・日曜日）
- ▲わからないことについて解決するために工夫をしているものの、自分の考えを深めたり新たな考えに気付くことについては課題が感じられています。

今後継続した取り組み

- ・小規模校の強みを生かして、一人一人に寄り添い、個に応じた支援や指導をしていきます。また、学校での安心感を高めるために、担任を中心に様々な教員が関わります。その上で、状況に応じて個に応じた支援をしたり、集団のよさを生かした支援をしたりしていきます。
- ・一人一人が「個別最適な学び」を自覚できるよう、指導方法を工夫していきます。
- ・I C T 機器が学びを支える道具になるために、授業や宿題を通して機器を生かした学びになるよう指導方法を工夫していきます。
- ・ゲームや動画視聴等と学習や読書との時間配分など、家庭での過ごし方について、お子さんとは非話し合っていただきたいと思います。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。